



# 学校だより 11月 第394号

横浜市立六つ川西小学校 (TEL) 742-6301 (FAX) 743-2394

URL <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/mutsukawanishi/>



## ～ 躍動 六つ西かがやき☆レンジャーズ ～

学校長

六つ川西小学校には「できるときにできることを」を合言葉に活動する「六つ西かがやき☆レンジャーズ」があります。

令和4年度末にPTAの組織が解体されたことに伴って発足したボランティア組織で、地域の方と保護者が協働して子どもたちの成長と学習をサポートしています。

子どもたちに本の読み聞かせを行う「図書レンジャーズ」、芝生の手入れや花壇の整備などを行う「環境レンジャーズ」、子どもたちの登下校の安全を見守る「見守りレンジャーズ」、子どもたちがまちたんけんや遠足などの行事、運動会に参加するときなど、学校の学習活動をサポートする「学習・行事レンジャーズ」の4つのレンジャーと共に、保護者だけで構成する「ピンポイントレンジャーズ」が一緒になって組織されました。

参加してくださるレンジャーの皆さんの取組スタイルは様々ですが、学校・地域コーディネーターのご協力をいただきながら、新しい時代の学校・地域共同体の取組が順調に滑りだしています。

先日の1、2年生の遠足の際、子どもたちの安全見守りのため、レンジャーズに参加している保護者の方に参加の理由を尋ねると「自分の子だけではなく、同学年の子どもたちの様子がわかるから」と答えてくれました。その他、様々なボランティア活動に参加する地域の方に、学校での活動参加の意義を

尋ねると「参加するだけでわくわくするから」「子どもたちから元気をもらえるから」

「自分の活動が少しでも子どもたちや先生の役に立っていると思うとうれしくなる」など、学校ボランティアのよさを実感するコメントをたくさんいただきました。

以前の学校だよりで「幸せをつかむ4つの方法」をご紹介したことがあります。

幸福学の第一人者である前野先生が提唱している4つの因子。1つ目は「やってみよう」因子、2つ目「ありがとう」（つながりと感謝）因子、3つ目「なんとかなる」（前向きと楽観）因子、そして、4つ目が「ありのままに」（独立と自分らしさ）です。この4つの因子、ボランティア活動をする時の気持ちに似ていると思うのは私だけでしょうか。はじめの一步は、なかなか勇気があるかと思いますが、「ありのまま」の姿で「なんとかなる」と前向きな気持ちで「やってみよう」と参加してみると子どもたちや地域の方々、そして、同じ志の仲間とのつながりが生まれ、「ありがとう」の輪が広がっていくのではないのでしょうか。

学校のボランティア活動に参加することが、皆様の幸せな生き方に直接繋がるかどうかは、まだまだわかりませんが、昨年度始まり、今年度より大いに躍動しているこの活動のよさを多くの人たちに知ってもらいたいと思っています。

